

教科・科目	産業社会と人間	単位数	2（通年）		
		ライン	1	開講期	通年
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：産業社会と人間				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 学習内容について、正しく理解し、良好な対人関係の構築に必要な態度や技能を身に付けたり、自分のライフプランを作成し図や文章で表現したりする力を身に付ける。</p> <p>(2) 学習した内容から、必要な情報を収集し得られた資料等を適切に分析して、自分の考えを整理したり、意見を述べたりする力を身に付ける。</p> <p>(3) 自分自身について正しく理解しようとするとともに、人の意見や発表を意欲や関心をもって聞く態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	令和8年度履修ガイド

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	学習内容について、正しく理解し、良好な対人関係の構築に必要な態度や技能を身に付け、自分のライフプランを作成し図や文章で表現したりする力を身に付けている。	学習した内容から、必要な情報を収集し得られた資料等を適切に分析して、自分の考えを整理したり、意見を述べたりする力を身に付けている。	自分自身について正しく理解しようとするとともに、人の意見や発表を意欲や関心をもって聞く態度を身に付けようとしている。
評価点	通年 50 点	通年 50 点	通年 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	職業研究・上級学校研究（1） 履修科目選択研究（1） ソーシャルスキルトレーニング（1）（2）	・レポート等	・レポート等	・レポート等
	ソーシャルスキルトレーニング（3）（4） 職業研究・上級学校研究（2） 履修科目選択研究（2）	・レポート等	・レポート等	・レポート等
評価点		50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	年間で4回以上出席すること。（※授業はそれぞれ2時間連続で実施する。）	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	2回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	年間で4回以上に合格すること。	
試験	別途指示する。	

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用 (NHK 高校講座)	
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	①										
	②	この回は、実施されません。									
	③	職業研究・上級学校研究(1)	1	1 3	2 4	5/24	5/25	—	5/28		
	③	履修科目選択研究(1)	2	1 3	2 4	5/24	5/25	—	5/28		
	④	この回は、実施されません。									
	⑤	ソーシャルスキル トレーニング(1)	3	1 3	2 4	6/21	6/22	—	6/25		
	⑤	ソーシャルスキル トレーニング(2)	4	1 3	2 4	6/21	6/22	—	6/25		
	⑥ ⑦ ⑧	この回は、実施されません。									
後期	⑨										
	⑩	この回は、実施されません。									
	⑪	ソーシャルスキル トレーニング(3)	5	1 3	2 4	11/8	11/9	—	11/5		
	⑪	ソーシャルスキル トレーニング(4)	6	1 3	2 4	11/8	11/9	—	11/5		
	⑫	この回は、実施されません。									
	⑬	職業研究・上級学校研究(2)	7	1 3	2 4	12/6	12/7	—	12/10		
	⑬	履修科目選択研究(2)	8	1 3	2 4	12/6	12/7	—	12/10		
	⑭ ⑮ ⑯	この回は、実施されません。									
					教科別質問教室に出席した日						

6 先生からのメッセージ

産業社会と人間では、ソーシャルスキルトレーニング(SST)と進路に関する職業研究や上級学校研究のキャリアデザイン(CD)について学習します。自分についてよく理解するとともに、将来の進路について考えることを目的としています。積極的に取り組みましょう。